

## 令和元年度第2回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について（概要）

第2回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催し、供給調整の必要性等についてのご意見を頂きました。

### 1 日時及び場所

令和元年9月30日（月）

近畿中国森林管理局

### 2 議題

- （1）近畿中国局管内の木材需給動向について
- （2）国有林材供給調整の必要性について
- （3）その他

### 3 議事概要

#### 《検討結果》

住宅関係では、近畿圏の6月新設住宅着工戸数は3ヵ月連続で減少した。利用関係別では、持家が11ヵ月連続で増加するなど堅調に推移している。分譲住宅もマンションと戸建ては上向いており、3ヵ月振りに増加した。また、貸家は5ヵ月連続の前年同月割れと低迷している。

合板関係では、鳥取県内の合板工場が長尺合板の出荷を停止しているため、木質系構造用面材で代替しようとする動きがあり、針葉樹構造用合板3×6判等の引き合いが若干増加している。

チップ関係では、今後稼働を控えた木質バイオマス発電所が局管内の各地で燃料用材の集荷を開始しており、今後の需給バランスに注視していく必要がある。

原木関係では、製材・ラミナ・合板用材の全てで飽和状態だったが、6月以降の出材量の減少から、価格の下落は底を打ち、スギは安値安定、ヒノキは若干の値戻しが見込まれる。

以上、現在の木材需給動向について検討した結果、国有林材の供給調整の必要性は認められない。

## 〈主な情報、意見等について〉

### ○国産材の需給動向

- ・京都府内の合板工場では、米材を減らし、国産材（ヒノキ・カラマツ）を増やしたことにより、7～8月の入荷量が20%増加となった。また、10～12月におけるスギ原木の買取価格に値下げの動きがある。
- ・奈良県内の原木市場では、秋以降の出材準備段階となり、出材量は減少傾向。本格的な出材は9月下旬から始まると見込まれている。並材は冬期に出材が安定していたため、製材・ラミナ・合板用材の全てが飽和状態となり、スギ・ヒノキの価格は4～5月以降から下落して、6月以降は出材量の減少から底を打ったが安値安定状況が続いている。これから台風シーズンを迎え、出材作業の進捗に不安があるが、スギは安値安定、ヒノキは若干の値戻しが予想されている。下級材はバイオマス需要から安定している。
- ・和歌山県内で2020～21年に稼働を予定している2箇所の木質バイオマス発電所では、本年1月に1箇所目が、5月から2箇所目が燃料用材の集荷を開始した。
- ・広島県内の原木市場では、長雨の影響について注視する必要があるが、現在のところ、大きな変化はない。スギの相場は横ばい状況で、引き合いは強くない。ヒノキの相場は引き合いが強くなっていて、強含みに推移しているが、大きな動きではない。
- ・広島県内の製材工場では、8月は操業日数も少なかったことや、猛暑の日が続き、無理な工場操業を避けたため、製材量が減少した。9月も操業状態は大きく変わらない見込みとなっている。
- ・国内木材マーケットは消費増税絡みの需要にも一服感が出てきた。円高の進行もあり、輸入材の先安感が広がっている。各プレカット工場は当用買いを実施し、在庫量の圧縮を進めており、結果的に需給が緩み、相場も一層弱くなってきている。

### ○その他

- ・木材価格の動向において、欧州材の今後の安値入荷が現実的な不安材料となっており、相場が下落の度合いを強めている。
- ・今後、多くの木質バイオマス発電所が稼働を予定しているが、地域にCD材の供給に対し十分な余力があるのか、山元への利潤還元が行われるのか疑問を感じている。また、バイオマス用材に牽引され、山元における原木の仕分け作業を疎かにしたり、水分率を下げるために原木市場の土場を長期間占拠することがないよう官民あげて努力すべきタイミングと考える。
- ・岡山県では、岡山県森林認証・認証材普及促進協議会として、「(一社) 緑の循環認証会議 (SGEC)」のFM認証を取得しており、本年度認証面積を89,321haに拡大した。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザへの木材提供については、8月で製材品(82.6 m<sup>3</sup>)、CLT(20.2 m<sup>3</sup>)の提供が完了した。

令和元年度 近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
学識経験者	松 下 幸 司	京都大学 准教授	
都 道 府 県	泉 清 久	和歌山県農林水産部 森林・林業局 林業振興課長	
	池 田 稔	岡山県農林水産部 参与	
素 材 生 産 業	小 出 一 博	株式会社フォレストこいで 代表取締役	
	八 木 数 也	株式会社八木木材 取締役	
木 材 業 界	三 栖 基 史	株式会社山長商店 常務取締役	
	大 野 英 輔	中国木材株式会社 取締役	
	内 藤 和 行	林ベニヤ産業株式会社 代表取締役社長	
	難 波 芳 英	江与味製材株式会社 代表取締役社長	
原 木 市 場 製 品 市 場	西 垣 泰 幸	西垣林業株式会社 代表取締役会長	